

ワールドクルーズ船見学会 実施報告書

日付: 2026年4月12日 報告者: 日本アロマセラピー学会国際部会 アネルズあづさ

2026年4月2日、神奈川県横浜市の大栈橋に停泊中のパシフィックワールド号にて、ワールドクルーズ船見学会を実施いたしました。本報告書にてその詳細をご報告いたします。

1. 実施概要

- 日時: 2026年4月2日(木)12:00集合 ~ 15:00解散
- 場所: パシフィックワールド号(横浜港大栈橋停泊)
- 参加者: 計35名(欠席2名を除く)
 - 日本アロマセラピー学会員: 12名
 - 児童養護施設一宮学園 職員・就職見学児童: 8名(ARTQ INSTITUTE提携施設)
 - 希望参加アロマセラピスト: 15名(ARTQ INSTITUTE卒業生限定)

2. 見学の目的と背景

パシフィックワールド号は、年3回日本を出発する世界一周106日の航海を行う、乗客数2,400名の大型客船(パナマ船籍)です。本見学会は、12階ウェルネスフロアにおける**「アロマセラピーケア」「自律神経バランスケア」**の提供現場、および船内施設の見学を通じ、海上におけるウェルネス業務の実際を学ぶことを目的としました。

3. 見学内容

船内施設および客室の巡回

セキュリティチェックを経て入船後、メディカルルーム、チェックインフロント、共用スペース(シアター、レストラン、プール等)を見学しました。また、運良く客室の見学も叶い、グレードによって多種多様な部屋の広さや設備を直接確認する貴重な機会を得ました。

ウェルネススペース(12階)の見学

本見学会の核心部である12階では、以下の施設を確認しました。

- 構成: 美容室、鍼灸、アロマセラピーケア、ジム、スタジオスペース、サウナ、リハビリテーションルーム
- リハビリテーション: 大型機械を導入し、3ヶ月の航海で歩行を目指す専用プログラムが実施されています。車椅子で乗船された方が歩いて下船されることもあるなど、高度なケアの実態を学びました。

4. 質疑応答と海上業務のリアル

見学後の質疑応答では、洋上という特殊環境ならではの実務実態について議論が行われました。

- 緊迫感のある医療連携：船内ではメディカルチームが24時間フル稼働しており、海上や寄港地での緊急搬送も発生します。現在乗船中のセラピスト(看護師資格保持者)からは、サウナ内での急変対応や怪我後のケアなど、医療知識を背景とした現場対応のリアルな話が挙がりました。
- 海上特有の環境：通常航行時は24時間、電車内に立っているような微細な振動がありません。施術中に丸椅子が移動してしまうほどの揺れの中で、体幹を維持してケアを行う技術的難しさが共有されました。
- 言語と顧客層：共通語は英語ですが、学習意欲があれば業務は可能です。乗客は40代後半～80代と幅広く、寄港地での活動による疲労回復ニーズが多いことや、国籍による香りの嗜好性の違いについても関心が集まりました。

5. 雇用・生活環境について

スタッフとしてのキャリアパスについても質問があがり、以下の通り共有しました。

- 採用プロセス：業務提携会社(ARTQ INSTITUTE)での教育・スキル習得を経て、申請手続きを行い、船員ビザ取得や指定健康診断、乗船員契約を締結する流れ。
- 船内生活：給与はドル建て、食住無料、船内決済は専用カード。寄港地での自由時間があることや、日本のパスポートの優位性など、具体的なライフスタイルを共有しました。

6. 総括

今回の見学会を通じ、クルーズ船を単なる「豪華客船」というイメージから、プロフェッショナルが働く「現場」として具体的に捉える貴重な機会となりました。16時の出港を前に、15時をもって無事解散となりました。今後も本船が帰国するタイミングに合わせ、継続的な見学会の実施を検討してまいります。

以下当日の様子を写真で共有いたします。

またこの写真に関しては、報告資料としてのみの掲載となりますので、あらかじめご了承をお願い申し上げます。



